



杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告

Vol.25(平成21年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103

TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp

HP;http://ikuma-iwata.net (毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員(区政杉並クラブ所属。現在、幹事長)。平成19年5月より2期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族:妻、長男(6歳)、長女(4歳)、次男(1歳)。

介護と保育の安全・安心プラン

～ 介護施設及び保育施設の新たな整備計画(平成22～25年度) ～



P.2で紹介しています

介護施設



平成20年度末の特別養護老人ホーム待機者(優先度Aランク)は907名です。

そのうち、在宅で直ちに入所を望んでいる方は259名(28.6%)です(*1)。

限りある資源を有効活用して「早期に施設入所が必要な方(早期入所希望在宅者)」の期待に応えるために、下記のような施設整備計画が策定されました。

(*1)優先度Aランクの方の中にも、すぐには入所を望まない方や、老人保健施設やグループホーム等に入所中の方が多数含まれています。

<現在の状況>		<新規整備>	<平成25年度>
特別養護老人ホーム	1,104床(*2)	300床	1,404床
認知症高齢者グループホーム	151床	108床	259床
老人保健施設	318床	100床	418床
ショートステイ	120床	72床	192床

(*2)この他に、区外協定施設が203床あります。

<平成20年度末>

早期入所希望在宅者対応率 55.4%

前年度末Aランク待機者入所率 29.9%

<平成25年度>

98.9%

49.3%



高齢化の一層の進展が予測される中、介護施設の計画的な整備が求められています。一方で、現に存在する入所待ちの期間への適切な対応としてショートステイの充実や、B・Cランクの入所待機者のための住まいとしてケア付き住宅の整備も重要です。短期のニーズと中長期の安心確保のバランスを見据え、今後も安全・安心な社会となるよう取り組んでいきます。

保育施設

P. 1からの続きです

平成19年度当初には13人にまで減少した保育園待機児童数が、平成21年度当初には137人にまで増加してしまいました。

年度(4月)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
就学前人口	19,739人	19,634人	19,691人	20,212人	20,701人
保育所定員	5,231人	5,382人	5,461人	5,559人	5,786人
待機児童数	98人	46人	13人	86人	137人
保育需要	27.0%	27.6%	27.8%	27.9%	28.6%



就学前人口の増加及び保育需要の高まり等により、保育施設の充実が喫緊の課題となっています。推計によれば、このままでは平成25年度の待機児童数は1,000人を超える見込みとなっており、その対策として1,200人分の**保育定員を整備**する計画が策定されました。

種別	整備する施設	22年度	23年度	24年度	25年度	計	
保育	既存園の改築・改修等	10人	20人	23人	43人	96人	改築等による定員増
	民間認可保育所	50人	147人		50人	247人	新設4所
	認証保育所		60人	30人	30人	120人	新設4所
	グループ保育室		18人			18人	新設1所
	家庭福祉員	24人				24人	家庭福祉員8名増員
	区保育室	135人				135人	新設3所、定員増3所
幼稚園	区立幼稚園の活用	18人	65人	102人	28人	213人	
	私立幼稚園の預かり保育の充実等	70人	127人	58人	92人	347人	
計		307人	437人	213人	243人	1200人	



保育需要の伸びに対応する一方、「子供を預かる」ことにとどまらず、「就学前教育」という視点での検討も必要です。

定員充足率が7割程度の区立・私立幼稚園の活用も図り、「乳幼児期の子育て・子育て」という視点での対応を考えていきたいと思います。

青梅市との交流協定

旧青梅寮

本年5月21日、旧青梅寮^(*)の青梅市への売却をきっかけとして、「杉並区と青梅市の交流に関する協定」が締結されました。

それを受け、10月1日から、青梅市の施設等を利用する場合の割引サービスが始まりました。

宿泊施設の宿泊料1割引や美術館等の入場料割引が受けられます。

対象施設については、杉並区役所文化・交流・男女共同参画課(3312-2111(代表))へお問い合わせください。

(*)昭和39年に土地建物を買収し、平成12年度まで杉並区役所職員厚生施設として使用。



決算特別委員会

9月30日～10月8日、全議員参加による決算特別委員会が開催されました。

その中で、私が取り上げたテーマの一部をご紹介します。



< 第1部(総括・歳入) >

- 小さな区役所とその方法
- 区役所内の人材育成
- **区民満足度**
- 地域集会施設における備品貸出収入

< 第2部(議会費、総務費、生活経済費、職員費) >

- 選挙事務
- 地域活性化支援

< 第3部(保健福祉費、環境清掃費) >

- **子ども手当と子育て応援券**

民主党政権の目玉施策のひとつに、子ども手当(中学生まで年額31万2千円を支給)があげられます。

杉並区では3年前から子育て応援券を導入しておりますが、「子育て家庭への経済的支援」という側面では、子ども手当の支給にあわせて見直しが必要です。

しかし、**子育て応援券は、「地域における子育て支援活動の活性化」も大きな目的**です(したがって、現金給付ではなく、利用対象が限定されるバウチャー制度を採用しています)。

子育て応援券の見直しに当たっては、子ども手当が子育て支援サービスの利用に有効に使われるような仕掛けをつくる視点から検討してほしい旨、要望しました。

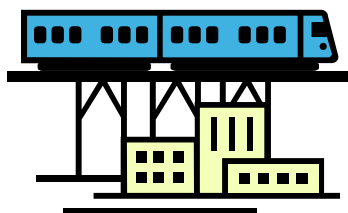
杉並区役所には、区民の皆様からいただいたご意見・ご要望・ご相談に概ね3日以内にご回答する「3日ルール」があります。

これは非常に良いことですが、対応が中長期にわたる問題に対して、中途段階での経過のご報告が不十分な事例が見受けられます。

区民満足度を高めるために、「経過報告」にも**十分に意を払ってほしい旨、要望**しました。

< 第4部(都市整備費、教育費) >

- **鉄道連続立体交差事業**
- **学校推薦図書**



京王線で、鉄道連続立体交差計画が進められています。国により新規に事業化に向けて調査・検討が認められたのは「代田橋～八幡山駅」で

すが、事業主体である都からは「八幡山～仙川駅」も含めて検討する旨の報告がありました。

この地域は区境にあたり、**杉並区は世田谷区と共同でまちづくり協議会の活動を支援**しています。

鉄道連続立体交差はまちのあり方に大きな影響を与える事業です。他自治体との協力等難しい面もありますが、地域の方達に喜ばれるような結果となるよう今後とも尽力して欲しい旨、要望しました。



杉並区教育委員会では、夏休み等長期休業前に、推薦図書を示しています。

この取組みは、各家庭における長期休業中の読書意欲を高める試みであり、非常にすばらしいものです。

しかしながら、せっかくの推薦図書が、各学校の図書室にほとんど備えられていません(今回調査した小学校1・2年生向けの書籍だと、蔵書されていたのは43校中3校だけでした)。

推薦図書の選定期間や学校図書の購入時期の問題があるのはわかりますが、せめて学校図書室に1冊(できれば学級文庫にも1冊ずつ)は備えるよう、要望しました。

視察・勉強会

7月23日～24日、福島県議会及び会津若松市議会へ、「議会基本条例」について視察を行いました。

会津若松市議会では、「政策形成サイクル」という視点から議会基本条例を制定しており、大変参考になりました。

また、7月31日には、(財)地方自治総合研究所所長の辻山幸宣氏を招き、議会基本条例の考え方について、講義をしていただきました。

「代議制デモクラシーが機能していると捉えるかどうか」で議会基本条例の内容が変わってくる、という指摘に、改めて考え方が整理されました。

10月9日に立ち上がった「議会改革に関する検討調査部会(第5期)」において、議会基本条例に関する調査・研究が検討事項となりましたので、今後も精力的に取り組んでいきたいと思いをします。



区政に関する 意見交換会 開催

(入場無料)

- 第39回 11月18日(水) 19:00～20:30
高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第四・第五集会室
- 第40回 11月23日(月・祝) 14:00～15:30
久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室

意見交換会の内容

- 政権交代と区政経営
- 減税自治体構想

- ✓ 政権交代に対する私の所感や、区政経営に与える影響を簡単にお話しさせていただきます。
- ✓ また、減税自治体構想について、皆様と意見交換をさせていただきたいと思っております。

ぜひご参加
ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

お名前:

ご住所:

TEL:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望:

FAX: 03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

FAX: